

開会のご挨拶



後山 尚久 先生

大阪医科大学健康科学クリニック

- 1979年 大阪医科大学 卒業
- 1981年 同大学産婦人科学 助手
- 1983年 国立島根医科大学第一生化学 助手
- 1989年 米国オクラホマ州立大学生化学・分子生物学 Physical Science II部門 教官
- 1993年 大阪医科大学産婦人科学 講師
- 1996年 同大学産婦人科学 助教授
- 2003年 大阪市立大学女性病態学 非常勤講師(兼務)
- 2004年 The Editorial Board of American Journal of Chinese Medicine
- 2006年 京都大学漢方医学講義 講師
- 同 年 藍野学院短期大学 教授
- 2009年 大阪市立大学細胞情報学講座 客員教授
- 同 年 日本東洋医学会関西支部 支部長
- 2010年 大阪医科大学健康科学クリニック寄付講座(未病科学・健康生成医学) 教授

今年も例年同様に、本東洋医学シンポジウムをもって第61回日本東洋医学会学術総会が始まります。

本シンポジウムは今年で17回目を迎えますが、今年もまた、シンポジストの先生方は、それぞれの専門領域において、西洋医学の多くの知識や経験を持ちつつ、漢方医学に対する深い造詣を有する先生方ばかりで、皆さん文字通り東西融合を实践されておられます。そうした先生方は、医療を受ける側の希望を最大限実現し、理想的な医療を提供することを目指す「癒し人」とも言えるのではないのでしょうか。

豊富な経験に裏打ちされたご講演には、臨床現場ですぐに使える漢方医療のアイデアが満載です。今回は、4名のシンポジストの先生方に加え、例年のコメンテーターである峯クリニック院長の峯尚志先生、さらに千葉大学柏の葉診療所所長の喜多敏明先生からも、随所で貴重なコメントを頂戴するとともに、シンポジストとしてのご講演も行っていただきます。

本シンポジウムが先生方の日常診療のご参考となり、「治せる医療」の実践者になっていただくためにお役立ていただければ幸いです。